

R5年度 学校評価アンケートの考察について

【※肯定率：「評価4→そう思う」と「評価3→ややそう思う」を合計した数値】

1 児童自身に関わること

- 設問1「子どもは（私は）、学校へ行くのを楽しみにしている。」の問いに対して、保護者の肯定率は89.4%、児童は88.7%でした。全ての学校行事や活動等をコロナ禍以前の形式に戻していくことなく、工夫・改善してきたことが少しずつ定着してきました。そうした教育活動や学校生活を、保護者の皆様が御理解・御協力をいただいている上で、児童が学校生活を楽しくしていることをうれしく思います。しかしながら昨年度同様、学校に楽しみを感じてない児童や、子供が楽しみにしていないと感じている保護者の方々も見られます。今後、今まで以上に児童が、「学校が楽しい」と感じられるような教育活動や学校生活の実践にさらに努めていきたいと思えます。
- 設問3「子どもは（私は）、進んで運動をするなど健康的な生活を送っている。」の問いに対して、保護者の肯定率は80.8%と昨年度を上回りました。今年度は猛暑が記録的に続いた1年ではありましたが、児童は暑さに負けず、元気に取り組んできたように思います。御家庭でも児童が運動に触れる機会も多く、運動の習慣化もされていたことと思えます。今後も、熱中症対策及び感染症等にも引き続き十分留意し、健康増進を図っていききたいと思えます。
- 設問5「子どもは（私は）、自分のことは自分です。」の問いに対して、保護者と児童の受け止め方に差がみられました。児童は学校においては、「自分から進んでいる」と思っている児童がほとんどです。その反面、家庭での様子を心配に感じている保護者の方々も少なくないようです。しかしながら鶉嶺小の児童は、学校生活において自分の事だけではなく、当番活動や係活動、また、高学年においては学校全体のために活動している姿が随所に見られますので、自己評価に値すると思えます。
- 設問7「子どもは（私は）、進んで家庭学習（宿題を含む）をしている。」の問いに対して、保護者の否定的な受け止めは34.9%、児童は16.1%と、前述のように保護者と児童の受け止め方に差が見られます。宿題を課したり家庭学習の時間の目安を提示したりしていますが、保護者の方々のご自由記述の御意見の中には、「宿題の量が学年によって差が感じられる」といった御回答もございます。今後も、児童に過度の負担にならないような毎日の宿題や家庭学習の内容及び長期休業中の課題等を検討・精選して、児童の自ら学ぶ姿勢を高められるよう努めていききたいと思えます。

2 教職員に関わること

- 設問8「教員は、わかりやすい授業を行なっている。」の問いに対して、保護者の否定的な受け止めは、前年度と比べて微増ではありますが、10%近くあります。今後、児童一人一人が「わかる・できる」喜びをもてるような個に応じた指導・支援、併せて必要に応じ、効果的なICT等を活用した学習指導に努めていききたいと思えます。
- 設問9「教員は、思いやりの心など、豊かな心を育むための指導をしている。」の問いに対して、児童の肯定率は97.2%と、前年度（94.4%）を上回りました。引き続き、児童に寄り添った支援及び教育相談体制の充実を図っていききたいと思えます。
- 設問13「学校は、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている。」の問いでは、保護者の否定的な受け止めが15%近くありました。学校だよりや、学年・学級だよりをはじめ、各種お知らせ等で本校の教育方針や教育活動の様子をお知らせしてきてはおりますが、十分行き届かない点があることも否めません。今年度、創立50周年記念式典・音楽発表会を実施し、保護者や御家族の方々に多くの御参加をいただきましたが、大きな学校行事等だけではなく、日常の学校生活を見ていただくような機会も増やしていければと思えます。

3 学校全体に関わること・総括

今回、保護者の皆様方への学校評価をアンケート用紙ではなく、Web上で行いました。全ての家庭数での御回答をいただいた訳ではありませんので、アンケート集計の結果が保護者の皆様の総意ではありませんが、本校の教育活動に対して過大な評価をいただいてもいます。ありがとうございました。結果並びに反省点を職員一同真摯に受け止めるとともに、好評価をいただいた内容については、継続及びさらなる改善に努めていききたいと思えます。引き続き、皆様の御支援・御協力をよろしく願います。